

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-33933

(43)公開日 平成9年(1997)2月7日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 02 F 1/1339	5 0 5		G 02 F 1/1339	5 0 5
1/1345			1/1345	
G 09 F 9/30	3 0 9	7426-5H	G 09 F 9/30	3 0 9

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全5頁)

(21)

出願番号 特願平7-186734

(22) 出願日

平成7年(1995)7月24日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 金城 誠

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

(72) 発明者 増田 茂

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

(72) 発明者 岡本 謙次

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 柏谷 昭司 (外1名)

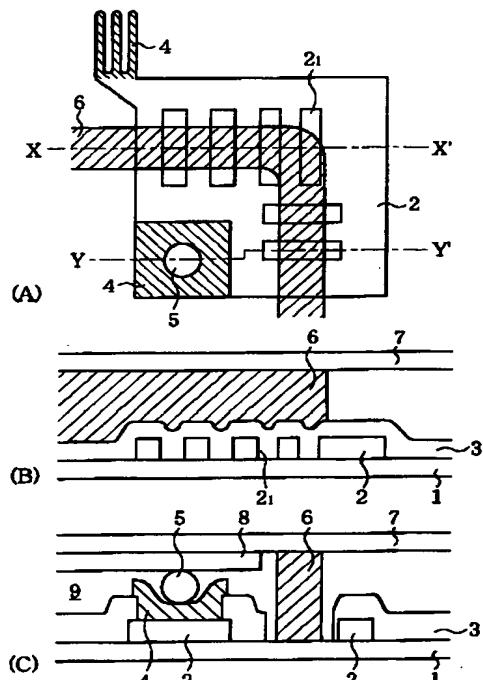
(54) 【発明の名称】 液晶表示パネル

(57) 【要約】

【目的】 液晶表示パネル関し、端子部における第1の基板と第2の基板の間のシール材の接着性を改善する手段を提供する。

【構成】 透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、この複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板1と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板7によって液晶9を挟み、第1の基板に、第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、端子部の、第1の基板と第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を形成する。この凹凸構造を、金属膜からなる端子部(端子2)に少なくとも1個の孔(スリット状の孔2₁)を形成し、その上に絶縁膜(保護膜3)を形成することによって、また、金属膜からなる端子部とその上の絶縁膜の両者を貫通する孔を形成することによって実現することができる。

第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、該複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板によって液晶を挟み、該第1の基板に、該第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、該端子部の、該第1の基板と該第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有することを特徴とする液晶表示パネル。

【請求項 2】 第2の基板に電圧を印加するため第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部に少なくとも1個の孔が形成され、その上に形成された絶縁膜のシール材を適用する部分の表面に該孔に相当する凹凸構造を有することを特徴とする請求項1に記載された液晶表示パネル。

【請求項 3】 第2の基板に電圧を印加するため第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部とその上に形成された絶縁膜に、少なくとも1個の孔が形成されて、シール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有することを特徴とする請求項1に記載された液晶表示パネル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、第1の基板（ TFT 基板）に形成された第2の基板（対向基板）への端子部の構造に特徴を有する液晶表示パネルに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図3は、従来の液晶表示パネルの構成説明図であり、（A）は平面図、（B）は（A）のX-X'断面図、（C）はY-Y'断面図である。この図において、21は第1の基板、22は端子、23は保護膜、24、28はITO膜、25は導電性スペーサ、26はシール材、27は第2の基板、29は液晶である。

【0003】 従来の端子構造を有する液晶表示パネルにおいては、ガラス等の透明絶縁性基板からなる第1の基板（TFT基板）21の上に金属膜からなる端子22が形成され、その上に、この端子22の、第2の基板27のITO膜28への接続領域の上に開口を有する保護膜23が形成され、その上に、この開口中で端子22と接触するITO膜24が形成され、このITO膜24の上に導電性スペーサ25を載置した状態でITO膜28を有する第2の基板（対向基板）27が重ねられ、その周辺部が有機接着剤からなるシール材26によってシールされ、第1の基板21と第2の基板27の間の隙間に液晶28が注入されている。

【0004】 すなわち、第1の基板21の上に配設される第2の基板27のITO膜28に電圧を印加するため

の端子部は、シール材26を塗布する部分を横切る構造になっており、しかも、比較的広い面積にわたってシール材26を塗布する部分と重なっている。また、この場合、第2の基板27のITO膜28に電圧を印加するための端子部の構造は、そのほぼ全域で第1の基板21の上の端子22、ITO膜24となっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従来の構造の端子部を有する液晶表示パネルにおいては、前述のように、第2の基板27のITO膜28に対する端子構造が、ガラス基板等の第1の基板21上の端子22の上に形成されたITO膜24であるため、その上に適用されるシール材との接着性が弱く、ITO膜24からシール材26が剥がれ、そこから液晶29が漏出するという障害が発生していた。

【0006】 図4は、従来の液晶表示パネルに発生するシール劣化状態の説明図である。この図において、21は第1の基板、22は端子、23は保護膜、24、28はITO膜、25は導電性スペーサ、26はシール材、27は第2の基板、29は液晶である。

【0007】 従来の構造の端子部を有する液晶表示パネルにおいては、前述のように、第1の基板21の上に金属膜からなる端子22が形成され、その上に、この端子22の、第2の基板27のITO膜28への接続領域の上に開口を有する保護膜23が形成され、その上に、この開口を通して端子22に接続されるITO膜24が形成され、また、第2の基板27の上にITO膜28が形成され、第1の基板21のITO膜24と第2の基板27のITO膜28の間に、導電性スペーサ25を挟んだ状態で、その周辺をシール材26によってシールされ、第1の基板21と第2の基板27の間の隙間に液晶29が注入されているが、ITO膜24とシール材26との間の接着性が弱いため、この部分で剥離し、注入されていた液晶28が漏出することがあった。

【0008】 本発明は、端子部における第1の基板21と第2の基板27の間のシール材26の接着性を改善する手段を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 本発明の液晶表示パネルにおいては、透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、該複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板によって液晶を挟み、該第1の基板に、該第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、該端子部の、該第1の基板と該第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有する構成を採用した。

【0010】 この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部に

少なくとも1個の孔が形成され、その上に形成された絶縁膜のシール材を適用する部分の表面に該孔に相当する凹凸構造を有する構成とすることができます。

【0011】また、この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部とその上に形成された絶縁膜に、少なくとも1個の孔が形成されて、シール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有する構成とすることができます。

【0012】

【作用】本発明の液晶表示パネルにおいては、透明絶縁性基板の上に少なくとも複数の行電極と、該複数の行電極と交差するように絶縁膜を介して配設された複数の列電極を有する第1の基板と、透明絶縁性基板の上に少なくとも透明導電膜を有する第2の基板によって液晶を挟み、該第1の基板に、該第2の基板に電圧を印加するための端子部を有する液晶表示パネルにおいて、該端子部の、該第1の基板と、該第2の基板の周辺を貼り合わせるためのシール材を適用する部分の表面に凹凸構造を有する構成を採用したことにより、シール材の接着性を改善することができます。

【0013】この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部に少なくとも1個の孔を形成し、その上に形成された絶縁膜のシール材を適用する部分の表面に該孔に相当する凹凸構造を形成して、シール材の接着性を改善することができます。

【0014】また、この場合、第2の基板に電圧を印加するために第1の基板上に形成された金属膜からなる端子部とその上に形成された絶縁膜に、少なくとも1個の孔が形成されて、シール材を適用する部分の表面に凹凸構造を形成してシール材の接着性を改善することができ、さらに、シール材を第1基板に直接接着させることにより、接着性をさらに改善することができます。

【0015】

【実施例】以下、本発明の実施例を説明する。

(第1実施例) 図1は、第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。この図において、1は第1の基板、2は端子、2₁はスリット状の孔、3は保護膜、4、8はITO膜、5は導電性スペーサ、6はシール材、7は第2の基板、9は液晶である。

【0016】この実施例の端子構造を有する液晶表示パネルにおいては、ガラス等の透明絶縁性基板からなる第1の基板1の上に金属膜2が形成され、この金属膜2がパターニングされて複数のスリット状の孔2₁を有する端子2が形成され、その上に、保護膜3が形成され、この保護膜3の第2の基板7のITO膜8への接続領域の上に開口が形成され、その上に、ITO膜4が形成され、このITO膜4の、外部から電圧を供給する部分

(図1(A)の左上)と、第2基板7のITO膜8への接続領域(図1(A)の左下)のみを残して他の領域のITO膜8が除去され、このITO膜4の上に導電性スペーサ5を載置した状態で、ITO膜8を有する第2の基板7がその周辺で有機接着材からなるシール材6によってシールされ、第1の基板1と第2の基板7の間の隙間に液晶9が注入されている。

【0017】この実施例によると、複数のスリット状の孔2₁を有する端子2の上に形成された保護膜3の表面に凹凸構造が生じ、シール材6に対する接着性が改善されるため、シール剥がれによる障害が起きにくくなる。

【0018】(第2実施例) 図2は、第2実施例の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A)は平面図、(B)は(A)のX-X'断面図、(C)はY-Y'断面図である。この図において、11は第1の基板、12は端子、12₁、13₁はスリット状の孔、13は保護膜、14、18はITO膜、15は導電性スペーサ、16はシール材、17は第2の基板、19は液晶である。

【0019】この実施例の端子構造を有する液晶表示パネルにおいては、ガラス等の透明絶縁性基板からなる第1の基板11の上に金属膜12が形成され、この金属膜12をパターニングして複数のスリット状の孔12₁を有する端子12が形成され、その上に、保護膜13が形成され、この保護膜13の第2の基板17のITO膜18への接続領域の上に開口と、金属膜12の複数のスリット状の孔12₁内にスリット状の孔13₁が形成され、その上に、ITO膜14が形成され、このITO膜14の、外部から電圧を供給する部分(図2(A)の左上)と、第2基板17のITO膜18への接続領域(図2(A)の左下)のみを残して他の領域のITO膜18が除去され、このITO膜14の上に導電性スペーサ15が載置された状態で、ITO膜18を有する第2の基板17がその周辺で有機接着材からなるシール材16によってシールされ、第1の基板11と第2の基板17の間の隙間に液晶9が注入されている。

【0020】この実施例によると、端子12の複数のスリット状の孔12₁内により深い保護膜13のスリット状の孔13₁が形成され、シール材16の接着性がさらに改善され、また、シール材16が直接第1の基板11に達して接着性が改善されるため、シール剥がれによる障害が起きにくくなる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の対向基板への端子構造を有する液晶表示パネルによれば、第1の基板と第2の基板の間のシール材の接着性を改善することができ、その結果、シール剥がれによる障害を抑えることができ、製造歩留りの向上、信頼性の向上に寄与するところが大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図であ

り、(A) は平面図、(B) は (A) の X-X' 断面図、(C) は Y-Y' 断面図である。

【図2】第2実施例の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A) は平面図、(B) は (A) の X-X' 断面図、(C) は Y-Y' 断面図である。

【図3】従来の液晶表示パネルの構成説明図であり、(A) は平面図、(B) は (A) の X-X' 断面図であり、(C) は Y-Y' 断面図である。

【図4】従来の液晶表示パネルに発生するシール劣化状態の説明図である。

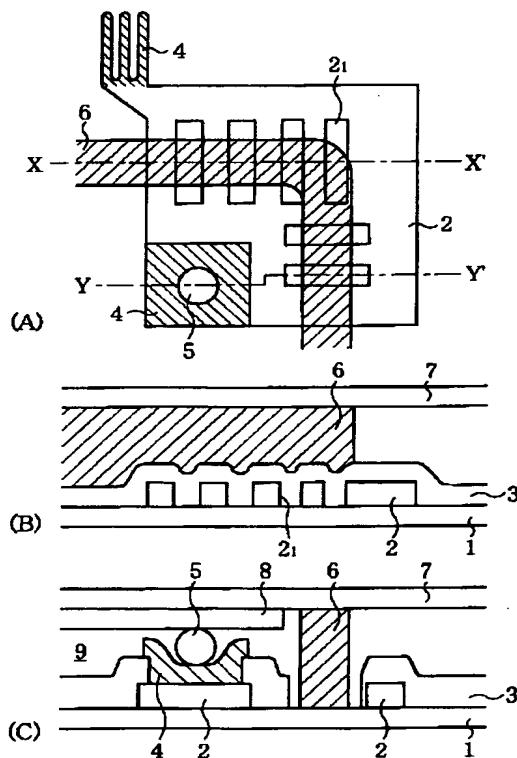
【符号の説明】

- 1 第1の基板
- 2 端子
- 2₁ スリット状の孔
- 3 保護膜

- 4, 8 ITO膜
- 5 導電性スペーサ
- 6 シール材
- 7 第2の基板
- 9 液晶
- 11 第1の基板
- 12 端子
- 12₁, 13₁ スリット状の孔
- 13 保護膜
- 14, 18 ITO膜
- 15 導電性スペーサ
- 16 シール材
- 17 第2の基板
- 19 液晶

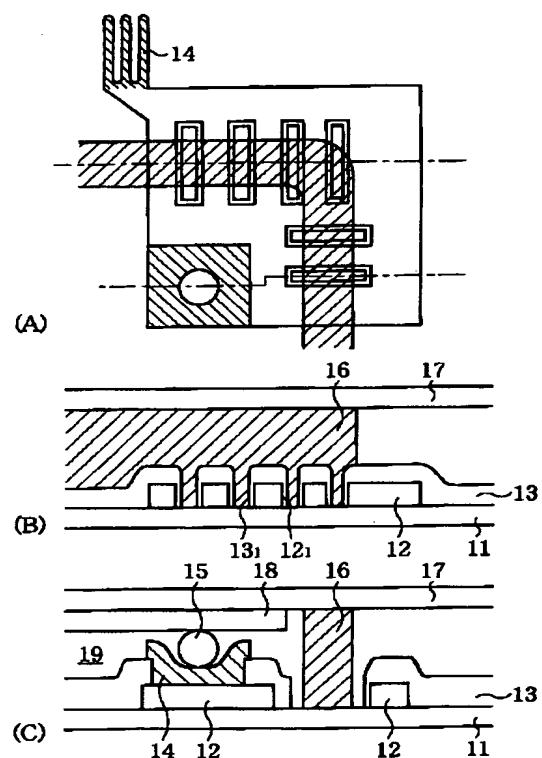
【図1】

第1実施例の液晶表示パネルの構成説明図



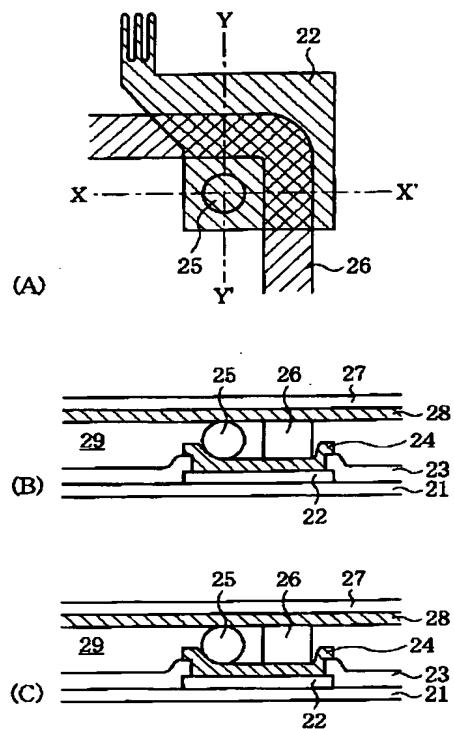
【図2】

第2実施例の液晶表示パネルの構成説明図



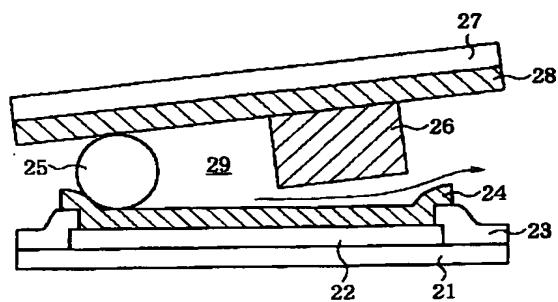
【図3】

従来の液晶表示パネルの構成説明図



【図4】

従来の液晶表示パネルに発生するシール劣化状態の説明図



- 21: 第1の基板
- 22: 端子
- 23: 保護膜
- 24: ITO膜
- 25: 対極子
- 26: シール材
- 27: 第2の基板
- 28: ITO膜
- 29: 液晶